

二 経営方針

1 校訓 明るく・強く・たくましく

2 教育目標

「生きる力」を身に付け、主体的によりよく生きようとする児童生徒を育成する。

3 めざす姿

(1) 児童生徒

○日常生活や社会生活を明るく豊かにしようとする児童生徒 【知識及び技能】

(小) 学んだことをいろいろな学習場面や生活の中で生かそうとする児童

(中) 既存学習(これまで学んだこと)を生かして、基礎的・基本的な知識・技能を習得する生徒

○様々な変化に対応できるたくましい児童生徒 【思考力・判断力・表現力等】

(小) 自分なりの方法や表現で意見や思いを、自信をもって伝えようとする児童

(中) 多様な情報を使って、意見交換を通して判断し、根拠をもって相手に伝える生徒

○何事にも挑戦する強い心をもった児童生徒 【学びに向かう力・人間性等】

(小) 周りの人とやりとりしながら、いろいろなことに挑戦しようとする児童

(中) 周りの人との関わりの中で、自主的に物事に取り組みながら、成功体験を重ねることで、主体的によりよく生きようとする生徒

(2) 学校

○人権を尊重し、命を大切にする学校

○児童生徒が自分らしく過ごせる学校

○児童生徒や保護者、地域に信頼される学校

(3) 教職員

○児童生徒や保護者に寄り添い、共に歩む教職員

○児童生徒の可能性を信じ、良さを引き出す教職員

○互いを認め合い共に学び合う教職員

4 経営目標及び、今年度の努力目標

<確かな学力の育成>

① 社会に開かれた教育課程を編成し、授業の学習評価に基づいて教育課程を評価・改善する。

・教育課程のPDCAサイクル(組織的運用)の見える化とその着実な推進。

② 児童生徒の教育的ニーズに応じた学びやすく分かりやすい授業を実践する。

・授業力向上校内研修を中心とした教科等横断的な視点の授業づくりや、個別最適な学びと協働的な学びの授業実践の推進。

・ICT機器を活用した児童生徒の実態に応じた効果的な授業実践の推進。

・学習空白の補充と学力の定着。

③ 各教科や自立活動の指導力向上を目指した教職員研修を推進する。

・自立活動の指導力向上に向けたTOPSS(トップス)の取組や自立活動力量形成チェックシートを活用した研修等の推進。

※TOPSS:Teacher,Occupational therapist,Ptysical therapist,Speech-language-hearing therapist,Studentの略

・県教育センター研修講座や各種オンデマンド研修等の受講推進。

<豊かな心の育成>

- ④ 主体性、自己効力感や自己有用感を育むとともに、キャリア発達を促す教育活動を推進する。
 - ・児童生徒が主体的に企画・運営に取り組む教育活動の推進（行事や児童生徒会活動など）。
 - ・キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進と希望進路の実現に向けた進路指導の充実。
- ⑤ 多様性を尊重する心や豊かな心を育てる教育活動を推進する。
 - ・校外学習などの体験的学習活動の推進。
 - ・人権・平和教育、交流及び共同学習・地域との交流活動・ゲストティーチャー活用の推進。
 - ・芸術活動や読書活動、スポーツ活動の推進。

<健康・安全・信頼>

- ⑥ 安心安全な教育環境の整備、組織的な危機管理の取組を推進する。
 - ・校舎内外の清掃・美化や整理整頓及び安全点検の確実な実施と不良個所への迅速な対応。
 - ・危機管理意識を高める訓練の実施と毎月の防災学習の推進。
- ⑦ 綱紀の厳正な保持に努め、信頼される教職員集団であり続ける。
 - ・いじめ、体罰、不適切な言動「ゼロ」の人権を尊重した教育の徹底。
 - ・綱紀の保持、服務規律の徹底のための服務規律研修の推進。
- ⑧ 明るく働きやすい職場づくりとワーク・ライフ・バランスを推進する。
 - ・計画的な業務遂行、会議の効率的な運営による時間短縮の推進。
 - ・定時退庁や計画的な年休取得の推進。
- ⑨ 限られた予算の有効かつ適正な執行に努め、保護者や地域の信頼に応える学校経営を行う。
 - ・限られた予算の有効活用と適正な事務処理の推進。
 - ・市道整備に係る安全な工事と教育環境改善への取組の推進。

<関係機関・地域との連携>

- ⑩ 特別支援教育のセンター的機能を発揮する。
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした地域支援・校内支援の推進。
 - ・諫早市特別支援教育連携協議会への積極的な協力。
- ⑪ 関係機関や地域と連携・協働するとともに、積極的な情報発信を行う。
 - ・市立図書館などでの作品展の定期的開催。
 - ・ホームページや学校通信による本校教育の広報・理解啓発の推進。

5 学部教育目標

小学部教育目標	中学部教育目標
○自らの病気や障害の状態を知り、よりよい生活習慣を身に付け、健やかな体と前向きに生きる心を育む。	○心身の調和や健康の保持増進を目指し、病気や障害に基づく課題に主体的に取り組ませ、日常生活に必要な生活習慣の定着を図る。
○進んで学習に取り組もうとする意欲や態度を育て、基礎的・基本的な学力の定着を図る。	○既習内容と関連させながら学習空白を補い、自主的に学習に取り組む態度を養い基礎学力の定着を図る。
○人との関わりを通して、相手を認め思いやる気持ちを育て、豊かな情操を育み、主体的に集団生活に参加するために必要な能力や意欲、態度を育てる。	○集団生活を通して、他者とのよりよい接し方や人と関わることの大切さ、喜びを感じ取らせ、互いを尊重し、地域社会で生きる力を育む。
○様々な体験的活動を通して、夢や目標に向かい主体的に取り組もうとする意欲や態度を育てる。	○一人一人に応じた進路指導に努め、キャリア発達を促し、自らの将来を見据えて、自己選択、自己決定し目標に向けて行動できる生徒の育成を図る。